

Test Date: May 4, 2011

Testing Organization: Isotope Research Institute

Location of Water Sampling: Irrigation canal from Takanokura dam, Minami-Souma-shi, Fukushima Prefecture.

Test Method: Radioactive materials were measured with a gamma ray spectrometer according to the "manual for radiation measurement for food in emergency cases" issued from the Ministry of Health, Labour and Health in Japan. Sample adjustment was made according to the environmental test sampling protocol by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science & Technology in Japan.

Tested Units and cartridges: X-1DS unit with RS-1SGH, FP-2(Pb) and FP-2(As), FN-XL

Results:

	Iodine-131	Cesium-134	Cesium-137	Cs-134 & 137
FN-XL Source Water 1L	10>	19	12	31
FN-XL Effluent 1L	ND	ND	ND	ND
FN-XL Source Water 50L	10>	19	13	32
FN-XL Effluent 50L	ND	ND	ND	ND
X-1DS Source Water 1 L	12	10>	19	29>
X-1DS Effluent 1L	ND	ND	ND	ND
X-1DS-FPb Source Water 1 L	10>	11>	19	29
X-1DS-FPb Effluent 1L	ND	ND	ND	ND
X-1DS-FPb Source Water 50L	10>	16	10>	26>
X-1DS-FPb Effluent 50L	ND	ND	ND	ND
X-1DS-As Source Water 1 L	18	14	10>	24>
X-1DS-As Effluent 1L	ND	ND	ND	ND
X-1DS-As Source Water 50L	21	10	10>	20>
X-1DS-As Effluent 50L	ND	ND	ND	ND

Note: Minimum detection level is 1 Bq/kg

In this measurement, radioactive nucleus including iodine (I-131) and cesium (Xs-134, Cs-137) were measured. A gamma ray spectrometer was used. Measurement time was 15 minutes.

*Limit of radioactive material residual in potable water by the MHLW: 300 Bq/kg

ND = Not Detected

放射能(核種)検査報告書

依頼者名: グランドデュークス株式会社 御中

結果報告日: 2011年5月4日

報告書番号: RIN11GB71C

試料名: FN-XL 原水 50L

株式会社 同位体研究所

代表取締役 堀 章

横浜市鶴見区末広町1-1-40

横浜市産学共同研究センター内

TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は、依頼者記載

検体量: 2L

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるγ線スペクトロメーターによる核種測定。サンプル調整については、文部科学省 環境試料採取法に準ずる。

分析結果: 核種検査

核種	規制値		測定値	単位	検出限界
Iodine-131	日本	飲用水	10>	Bq/kg	1 Bq/kg
Caesium-134 Caesium-137	国内は、合算規制値		19 13	Bq/kg Bq/kg	1 Bq/kg
Cs-134&137	日本	飲用水	32	Bq/kg	1 Bq/kg

日本の規制値は、厚生労働省 食品放射線残留規制値

ND: Not Detected(不検出) 尚、本検査では、測定時間は15分間

放射能検査に関する注記:

本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射能測定・分析」に基づき、第2段階モニタリングにおける測定・分析により、放射性ヨウ素(I-131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。本測定においては、定量限界に示す定量性が、多核種の存在もしくは、検体の放射性物質による汚染濃度により低下する場合がある。ただし、緊急時においても10分間計測において、I-131にて40Bq/kg、Cs-137において、80Bq/kg程度の検量性を保持する為、食品規制値における判定を行う上で、有効である。尚、放射性ヨウ素換算での総放射能濃度迅速検査(1次検査)に追加して核種分析を行う場合、放射性ヨウ素(I-131)については、半減期が8日と短いため1次測定に比して測定値が減少する事を注記する。

結果注釈: I-131, Cs-137,134を検出。 検出値は、規制値以下。

放射能(核種)検査報告書

依頼者名: グランドデュークス株式会社 御中

結果報告日: 2011年5月4日

報告書番号: RIN11GB72C

試料名 : FN-XL 浄水 50L

株式会社 同位体研究所

代表取締役 堀 章

横浜市鶴見区末広町1-1-40

横浜市産学共同研究センター内

TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は、依頼者記載

検体量 : 2L

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるγ線スペクトロメーターによる核種測定。サンプル調整については、文部科学省 環境試料採取法に準ずる。

分析結果: 核種検査

核種	規制値		測定値	単位	検出限界
Iodine-131	日本	飲用水	ND	Bq/kg	1 Bq/kg
Caesium-134	国内は、合算規制値		ND	Bq/kg	1 Bq/kg
Caesium-137			ND	Bq/kg	
Cs-134&137	日本	飲用水	ND	Bq/kg	1 Bq/kg

日本の規制値は、厚生労働省 食品放射線残留規制値

ND: Not Detected(不検出) 尚、本検査では、測定時間は15分間

放射能検査に関する注記:

本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射能測定・分析」に基づき、第2段階モニタリングにおける測定・分析により、放射性ヨウ素(I-131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。本測定においては、定量限界に示す定量性が、多核種の存在もしくは、検体の放射性物質による汚染濃度により低下する場合がある。ただし、緊急時においても10分間計測において、I-131にて40Bq/kg、Cs-137において、80Bq/kg程度の検量性を保持する為、食品規制値における判定を行う上で、有効である。尚、放射性ヨウ素換算での総放射能濃度迅速検査(1次検査)に追加して核種分析を行う場合、放射性ヨウ素(I-131)については、半減期が8日と短いため1次測定に比して測定値が減少する事を注記する。

結果注釈: I-131, Cs-134, Cs-137不検出

注) 検査結果は、依頼者より提供された検体の分析結果であり、弊社は、当該検体の分析結果についてのみ、その結果を証明します。弊社は、検体の収去に一切関与しておらず、検体以外のいかなる製品に対して、この分析結果を証明するものではありません。本分析試験報告書を弊社の許可なく無断で転載し、使用することを禁止します。